



学校だより

わかまつ

鈴鹿市立若松小学校

№25

令和2年12月21日

有意義な冬休みにするために

長かった2学期も、23日に終業式を迎えます。2学期を振り返ると、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、運動会、修学旅行、社会見学、6年キャンプ、津波避難訓練&引き渡し訓練、校内マラソン大会などの行事が、内容の変更・縮小を余儀なくされました。その中で、それらの行事に、子どもたちは全力で取り組み、無事終わることができました。これも保護者、地域の皆様のご理解とご協力のおかげと感謝申し上げます。

冬休みは、年末・年始を含み、子どもたちにとっていろいろな経験ができる楽しい時期です。しかし、気を緩めると、生活は乱れやすく、問題行動や事故などの発生も懸念されます。そのために、自己の生活を反省し、

新しい年の生活設計を立てるとともに、

家族の一員として自己の役割や責任を自覚して、自主的な生活を心がけてほしいと思います。

また、冬休みを有意義に過ごせるよう、うがい・手洗い・マスクの着用・体温測定などの健康管理に努めていただきますようご協力をお願いします。



若松地区防犯パトロール隊感謝の集い

12月9日(水)、第2回青色パトロール隊感謝の集いを開催しました。パトロール隊の方やPTAの方にお集まりいただきました。子どもたちが毎日安全に登下校できるのは、雨の日も、風の日も見守っていただいているおかげです。PTA会長、児童会会長からお礼の言葉を伝え、感謝状をおくりました。感謝の気持ちは、元気のいいあいさつでかえしていきましょう。日頃の見守り活動に感謝いたしますとともに、これからも引き続きよろしくお願いいたします。



5年生 サンクスパーティー

12月14日(月)と15日(火)の2日間において、サンクスパーティーを開催しました。この会は、5年生が米づくり(田植え、稲刈りなど)でお世話になった伊藤ご夫妻をはじめ、地域づくり協議会の方、光太夫太鼓でお世話になった大黒屋光太夫顕彰会の方をお招きして、感謝の気持ちを伝えるために計画しました。ごはんを炊いて、みそしるを作ってお迎えしました。



それぞれが協力し合って準備、運営を行いました。最後に「夢の世界を」をみんなで歌いました。参加していただいた方々も喜んでみえました。若松小はいろいろなところで地域の方に支えていただいています。感謝の気持ちを忘れず、いろいろなことにチャレンジしていきましょう。

千代崎中学校区人権フォーラム

12月3日(木)千代崎中学校において、千代崎中学校区人権フォーラムが開催されました。今年度は新型コロナウイルス感染症対策として、参加人数を少なくしたり、全体交流会を中止したりして、形式を変更して実施しました。愛宕小、玉垣小、若松小の6年生代表と千代崎中の1年生・2年生代表が参加し、「いじめ・差別をなくすために私たちができること」について、話し合いをしました。4分散会に分かれて協議しました。それぞれの発表から、差別をなくそうとする思いが伝わってきました。参加児童はフォーラムで体験したことをそれぞれの学校で還流し、主体的に活動していけるよう、各校の人権教育の実践につなげていきます。



5年生 伊勢型紙教室

12月18日(金)、5年生が伊勢形紙協同組合の方4名を講師に招いて、それぞれの学級で伊勢型紙教室を行いました。前日に、伊勢型紙の歴史や彫り方について、DVDを見て学習し体験しました。彫り方の説明のあと、型紙を選び、刃の向きに注意しながら、じ



っくり彫っていきました。細かな作業もていねいに行うことができました。最後に、彫った型紙を貼り付けて、ランプシェードに仕上げてくださいました。それぞれが満足いく体験となりました。

